

★次の文を読み、**A～C**の問いに答えよう！

ある牛丼大手2社が海外出店を加速する。A社は2013年度に前年度の3倍となる77店を出店。B社も同2倍を出店する。日本国内ではコンビニエンスストアに顧客を奪われるなどして、減収傾向が続くなか、値下げ競争も始まっている。中国を含むアジアに新たな収益基盤を築く。

A社とB社を合わせた海外店舗数の伸び率は、11年度～12年度は10%台後半だったが、13年度は30%を超える見込みである。

A社は中国やブラジル、マレーシア、タイに展開している。13年度の海外出店は中国が中心で、出店数は過去最多になる。海外の店舗数は12年度末の70店から約150店になる。

B社は13年度に海外で140店を出す。中国に87店を出すほか、インドネシアやタイで増やす。

日本国内では13年5月までの既存店売上高は、A社が21ヶ月連続、B社が14ヶ月連続で前年割れ。弁当や惣菜を販売するコンビニやハンバーガーチェーンとの顧客の奪い合いが激化しているうえ、消費者の間で牛丼に対する新鮮味が薄れている。

日本の牛丼店は13年度に5000店を超える見通して、市場は飽和に近付いている。国内の低迷を受け、米食が中心のアジアの需要に的を絞る形だ。

(2013年6月9日日本経済新聞参考)

**A.** 今年1年間で海外出店数を A社は.....倍、B社は.....倍にする

**B.** A社が展開する海外店舗の国を白地図に色を塗り、国名を記入しよう



**C.** なぜA社やB社は海外進出をするのか？自分の考えを3つ以上書こう！

★新聞記事から読み取れること以外にも、自宅でインターネットを活用して調べてみよう！

**本時のテーマ** グローバル化とはどのような状態かを理解し、その要因は何かを事例を用いて考えよう！

### ① グローバル化とは何か？

私の考え	板書
	<p>.....や.....などが、<b>地球上のどこに</b></p> <p><b>おいても</b>.....状態</p> <p>↓</p> <p>別名</p> <p>「.....」</p>

### ② 「国際化」と「グローバル化」の違いは何か？

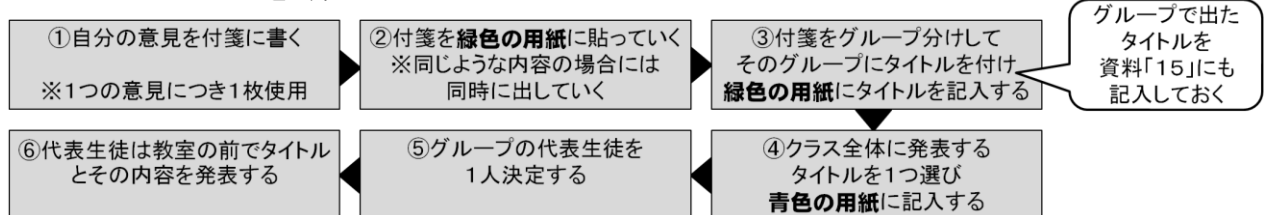
国際化	VS	グローバル化
Internationalization		Globalization
日本で設計したものを、安い労働力を求めて海外生産しただけ		その国の文化に合った .....の商品づくり

### ③ 予習プリント を利用して、グループで企業のグローバル化の実態を理解しよう！

Q、なぜA社やB社は海外進出をするのか？

グループで出たタイトル（グループの考え）	板書
	<p>グローバル化の要因</p> <p>①.....の発達</p> <p>②.....の発達</p> <p>③.....の飽和</p>

🔊グループワークの進め方

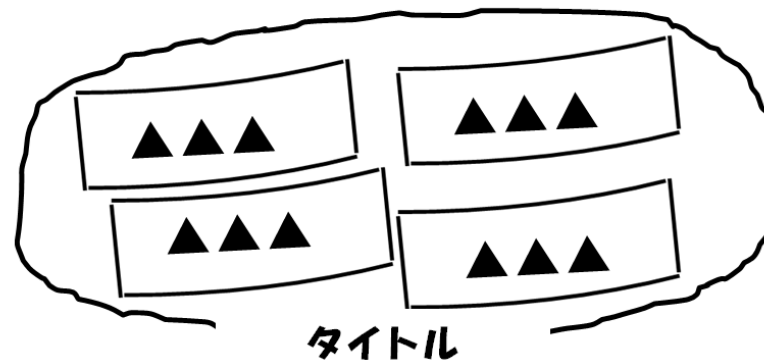
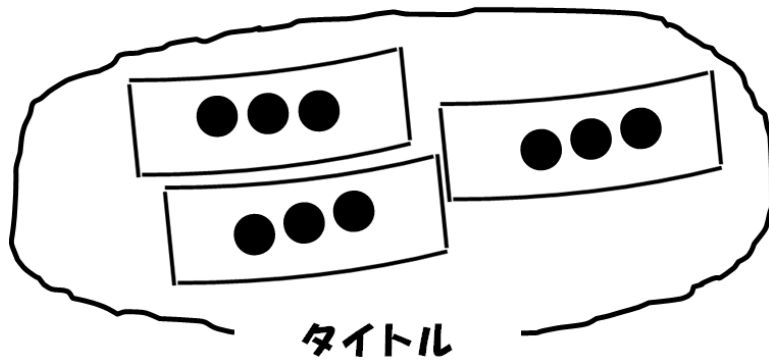
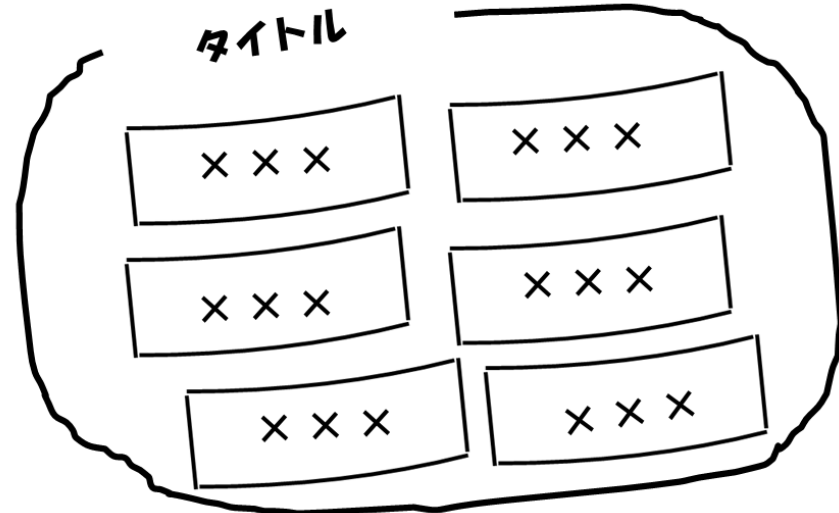
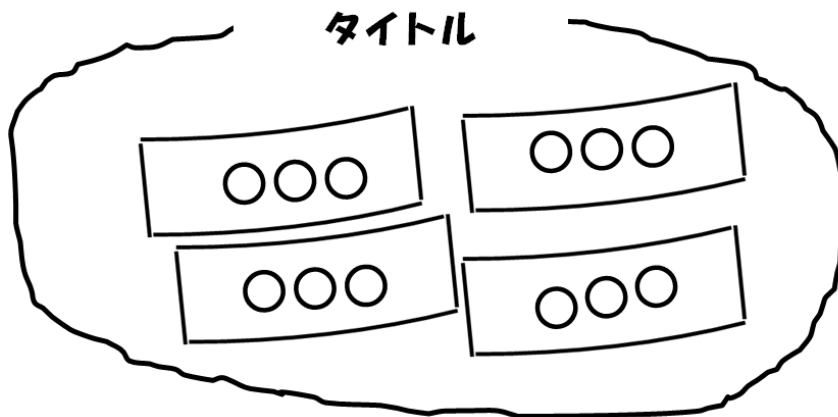


# グループワークの進め方資料 No.①

意見を代表するような  
タイトルをつける

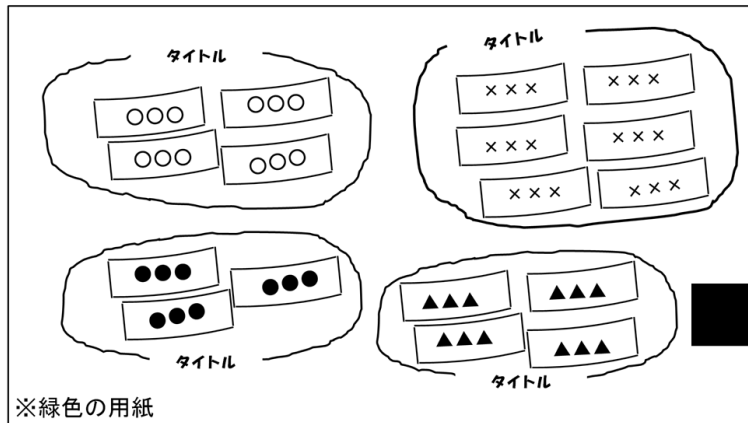
## ～グループワークのルール～

1. 発言発案に**批判**をしてはならない
2. アイデア発想は**自由奔放**にする
3. 発言・アイデアの**量**を求める
4. 他人のアイデアのヒントにした**改善**  
便乗を歓迎する



※緑色の用紙

## グループワークの進め方資料 No.②



緑色の用紙(①)にてグループでつけた  
タイトルの中から、選りすぐりのタイトル  
を1つ選び大きく記入する

# タイトル

※青色の用紙

★次の文を読み、A～Cの問いに答えよう！

ある牛丼大手2社が海外出店を加速する。A社は2013年度に前年度の3倍となる77店を出店。B社も同2倍を出店する。日本国内ではコンビニエンスストアに顧客を奪われるなどして、減収傾向が続くなか、値下げ競争も始まっている。中国を含むアジアに新たな収益基盤を築く。

A社とB社を合わせた海外店舗数の伸び率は、11年度～12年度は10%台後半だったが、13年度は30%を超える見込みである。

A社は中国やブラジル、マレーシア、タイに展開している。13年度の海外出店は中国が中心で、出店数は過去最多になる。海外の店舗数は12年度末の70店から約150店になる。

B社は13年度に海外で140店を出す。中国に87店を出すほか、インドネシアやタイで増やす。

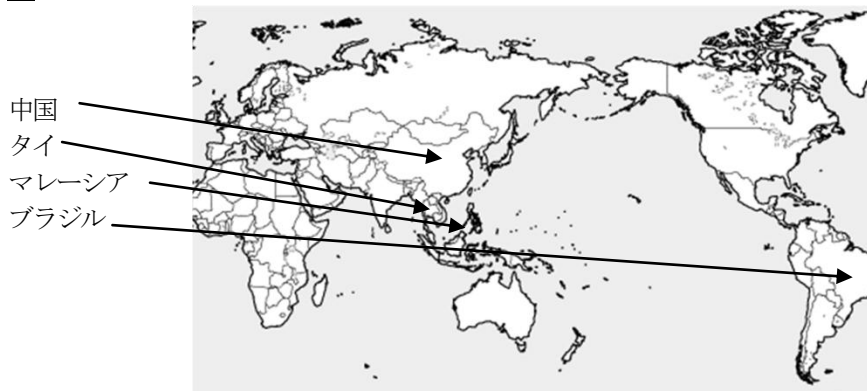
日本国内では13年5月までの既存店売上高は、A社が21ヶ月連続、B社が14ヶ月連続で前年割れ。弁当や惣菜を販売するコンビニやハンバーガーチェーンとの顧客の奪い合いが激化しているうえ、消費者の間で牛丼に対する新鮮味が薄れている。

日本の牛丼店は13年度に5000店を超える見通して、市場は飽和に近付いている。国内の低迷を受け、米食が中心のアジアの需要に的を絞る形だ。

(2013年6月9日日本経済新聞参考)

A. 今年1年間で海外出店数を A社は.....3.....倍、B社は.....2.....倍にする

B. A社が展開する海外店舗の国を白地図に色を塗り、国名を記入しよう



C. なぜA社やB社は海外進出をするのか？自分の考えを3つ以上書こう！

★新聞記事から読み取れること以外にも、自宅でインターネットを活用して調べてみよう！

- ・国内のコンビニに顧客を奪われている。
- ・国内の値下げ競争で利益があがらない。
- ・消費者の牛丼に対する新鮮味が薄れている。
- ・国内市場の飽和（5000店）

**本時のテーマ** グローバル化とはどのような状態かを理解し、その要因は何かを事例を用いて考えよう！

### ① グローバル化とは何か？

私の考え	板書
	<p>.....人.....や.....商品.....などが、<b>地球上のどこに</b>  <b>おいても</b> <u>自由に行き来する</u> 状態</p> <p>↓          別名  <u>「ボーダレス社会」</u></p>

### ② 「国際化」と「グローバル化」の違いは何か？

国際化	VS	グローバル化
Internationalization		Globalization
日本で設計したものを、安い労働力を求めて海外生産しただけ		その国の文化に合った <b>地域密着型</b> の商品づくり

### ③ 予習プリントを利用して、グループで企業のグローバル化の実態を理解しよう！

Q、なぜA社やB社は海外進出をするのか？

グループで出たタイトル（グループの考え）	板書
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内のコンビニに顧客を奪われている。</li> <li>・国内の値下げ競争で利益があがらない。</li> <li>・消費者の牛丼に対する新鮮味が薄れている。</li> <li>・国内市場の飽和（5000店）</li> </ul>	<p>グローバル化の要因</p> <p>①.....<b>情報通信技術</b>.....の発達</p> <p>②.....<b>交通手段</b>.....の発達</p> <p>③.....<b>国内市場</b>.....の飽和</p>

🔊グループワークの進め方

